

## GNU の F77 フリーコンパイラーを Windows で起動させる手順

広島大学 作野裕司

## &lt;ダウンロード・セットアップの手順&gt;

1. 以下の HP アドレスを開く。

<http://www.geocities.com/Athens/Olympus/5564/g77.htm>

2. 画面下方の次のファイルをダウンロードする。

g77exe.zip (1.54Mb)

g77lib.zip (208Kb)

g77doc.zip (301Kb)

g77exe のファイルだけでも動くようです。

3. ダウンロードしたファイルを解凍する。WIN XP 以外の OS では自動解凍できないので、解凍ソフトをダウンロードして、解凍する。解凍後のファイルはすべて「G77」フォルダーに格納されている。g77exe で解凍した「G77」フォルダーに、g77lib.zip 及び g77doc.zip を解凍してできた「lib」、「doc」フォルダーを入れ込む。最終的には、以下のようなファイル構成となるようにする。こうして作成した「G77」フォルダーごと C ドライブに入れる。



## &lt;解凍ソフト&gt; 「解凍レンジ」

<http://www.vector.co.jp/soft/win95/util/se094501.html>

4. Windows の「スタート」「プログラム」「アクセサリ」から「コマンドプロンプト」を選び、起動させる。プロンプト(>)の次に以下のようなコマンドを入力し、Enter(又は「return」)を押す。

```
> cd c:¥g77
```

5 . 同様に , プロンプトの次に以下のコマンドを入力し , Enter ( 又は「return」) を押す。  
これで Fortran セットアップは完了である。

```
> g77setup
```

#### <Fortran コンパイル・実行の手順>

6 . インストールされたファイルには , fortran のテストプログラムがすでにインストールされている。名前は「mytest1.f」と「mytest2.f」である。このプログラムを実行するには , 以下のようなコマンドを打って Enter ( 又は「return」) を押せばよい。実行ファイル「a.out」がフォルダー内にできていれば , コンパイルは成功である。

```
c:¥g77 > g77 mytest1.f
```

なお , 授業中たくさんのプログラムを作成するため , 「g77」のフォルダーに直接プログラムを入れるのはあまり好ましくない。このときには「g77」フォルダー下に適当なフォルダー ( 例えば「test」フォルダー) を作成し , プログラムを入れておくと , 紛らわしくなくてよい。ただし , その際のコンパイルは以下のようにする。

```
c:¥g77 > cd test
```

```
c:¥g77¥test > g77 mytest1.f
```

これは「test」フォルダーに「mytest1.f」を入れた場合。

7 . コンパイルしてできたファイル「a.out」を実行するには , 以下のようなコマンドを打てば , 実行される。

```
c:¥g77 > a.out
```

#### <注意>

プロンプトを閉じてしまったら , もう 1 回 4 番以降の作業を繰り返さないと , コンパイルできないようである。この作業が面倒くさいようであれば , 以下のようなバッチファイルを作っておくと , 4 , 5 の作業をショートカットできる。

---バッチファイルの中身---

```
cd c:¥g77
```

```
g77setup
```

「kido.bat」等と名前をつけて , プロンプト起動時のファイルに入れておき , プロンプトを立ち上げた状態で「kido.bat」と打つと , 以上の命令が実行される。